



1982/1 NO.156



「山上の日の出」

藤島武二作

(キャンバス・油彩・昭和9年)

我が国の近代洋画の創造は、黒田清輝によるヨーロッパ近代写真主義の紹介にはじまる。黒田清輝とともにその原動力としての役割を果たした藤島武二は東京美術学校西洋画科の創設時から一貫してその指導者として、つねに画壇の第一線で活躍し、独自の画境を切り開いた巨匠である。

藤島武二は鹿児島に生まれ、初めは同地の平山東岳に日本画の初歩を学び、ついで、東京に出て川端玉章の門に入り、二十歳の時にはやくも東洋絵画協会

の共進会で一等褒状を得ている。その後、日本画から洋画に転じ、曾山幸彦をはじめ、工部美術学校系の教師に指導を受けるとともに「明治美術会」に出品し、力量を認められた。明治二十九年、東京美術学校西洋画科の新設に際して、黒田清輝の推薦で助教授となった。明治三十八年、文部省留学生としてヨーロッパへ渡り、フランスとイタリアで伝統的油彩画技法を学び個性あ



好評だった「現代日本美術の展望」

る表現を身につけた。帰国後、教授となり、日本に油絵を本格的に定着させ、発展させた中心人物として後世の画壇に大きな影響を与えている。

昭和三年、貞明皇后は、今上天皇に遷御のお祝いとして御贈進になる油絵の制作を藤島武二に御下命になった。それに応じて藤島は日の出の光景を描くことを決め、以後十年にわたって海や山に題材を求め、内地はもとより、台湾、満州、蒙古にまで写生に歩いている。そして、昭和十二年、ついに「旭日照六合」を完成した。そうした中から、後期の力作が多数生まれている。この「山上の日の出」も、その中の一つで、確氷峠からの鳥瞰を描いたものである。軽妙で張りのある筆致は、水墨画的描法を想起させ、青、黄、朱などの鮮やかな色彩も巧みである。自然の対象にもとづく写実的追求と、青年期からの装飾的、浪漫的傾向とが、みごとに融合している。晩年の円熟した作品といえよう。(学芸員 片岸昭二)

県民の総意で県政の指針



県民の皆様、明けましておめでとうございます。私も知事に就任して二度目の新年を迎え、一段と身の引き締まるものがございます。私はこれまで県政を担当するにあたり、一に県民本位の県政、二に先見性に裏打ちされた県政の推進をつねに心掛けてきました。このため「町まわり」で県民と膝を交え、世論調査や知恵募集中を通じ、県民の声を出来る限り施策に反映しようと努めました。

次に、創意と工夫を基調にして、未来を先取りするために、今後の県政の指針となる「活力ある富山県をつくる総合計画」を策定することとし、今年早々に総合開発審議会を開き、十月頃には答申を頂きたいと考えています。昨年は十八年ぶりの豪雪に見舞われ、その教訓と体験をもとに「雪に強い県土づくり」を目指し、総合雪対策研究会を設けました。旧ろう中間報告を受けており、当

面の対策としては雪捨て場の確保増、除排雪機器の充実など積極的に今冬から取り入れております。懸案のプロジェクトも、昨年一年間でその実現あるいは完成に向けて、着実に歩を進めることが出来たと思えます。来年は栄光の置県百年を迎えます。明治、大正、昭和と三代に亘る先人の英知と努力のあとを回顧するとともに、次の百年へ向けて悠久の大計を模索する

節目の年であります。すでに昨年、県民総参加による同業推進県民会議を設置し、輝かしい記念事業の具体的検討を着々と進めております。これに併行して富山空港の拡張と総合体育センターなど、その周辺整備の準備も順調に進行しています。県民悲願の北陸新幹線の優先着工決定も、昨年の嬉しいニュースでありました。しかし、これから先もまた平坦な道ではありません。

富安風生の句に「四海波安からねども初日影」があります。まさに今年も四海穏かではなく、国も県もその経済情勢は極めて厳しいものがあり、先行き楽観を許されぬ課題が沢山あるでしょう。しかし、そうした中で、郷土を愛し、活力ある富山県を、という使命と決心を、初日影の前で新たにし、おごそかに噛みしめたいと思います。

所信の一端を申し上げ、県政に対する県民の皆様の一層のご協力をお願いいたしまして、新年のごあいさついたします。

富山県知事 中沖豊

110万人の英知で21世紀をひらこう

「県民の知恵」入賞者を表彰

「県民フォーラム」を開催



21世紀の富山県を語るフォーラム参加者

講演要旨

ひらけ富山21世紀

富山県政アイデア委員会
委員長代行 山口 博

去る十二月三日、さきに県民から広く募集した「県民の知恵」の入賞者の表彰式が行なわれました。優秀十人、入選八十九人に知事から創意と熱意を讃える賞が贈られ、引き続き一般参加の県民の方や応募作品の審査にあたられた「県政アイデア委員」、知事を始め各部長も参集しての「21世紀を考える県民フ

ォーラム」を開催し、活力ある富山県をつくる総合計画や置県百年記念事業等を中心に熱心な意見発表がありました。ここに、「県民の知恵」入賞作品と「県民フォーラム」で行われた講演の要旨を紹介しました。

私共アイデア委員は、多数の県民の方から寄せられた分厚い「県民の知恵」を、二度も三度も読み返し、そのすばらしい発想に感動し、勉強させられた。私はきょうの演題をいろいろ考えてみたが、「ひらけ富山21世紀」としたのは、いま、富山県は、「開かれた県政」を推進して

おり、また、みなさんの提案すべてに「21世紀に向かって」ともつとひらけ」という意味が貫かれているのではないかと思ったからである。21世紀に

向かってますます発展する富山の未来への祈願をこめてという解釈も含めて。そこで「ひらけ」という命令形で思い出すのは「ひらけゴマ」というアラビアンナイトの物語である。私の発想は実にここに

の「だと言ひ換えたとき「ひらけ富山」と呪文を唱えることによつて、21世紀の県民の幸せがさんぜんと輝いているのではないか」ということを考えた。さて、このアラビアンナイトの舞台となるバグダットは、物語に出てくるほどきらびやかではなかった。宝石もないし美女も美酒もない、ごちそうもない。物語と逆な禁欲の世界であり、貧しく、苛酷な自然、まぐるしい政権の攻防。これが現実のバグダットであった。こうした

アイディアリストという言葉がある。「夢想家」とか「理想家」と訳されるが、夢想では困る。アイデアは現実でなくてはならない。寄せられた知恵の中にはアラ

ビアンナイトらしい、実にユニークなアイデアもあった。ユートピア推進センターとか呉羽山を富山湾へとか、アラビアンナイト風を実現不可能なものがたくさんあった。

また、逆に、たいへん現実的なものがあった。郷土づくりが約四〇％を占めている。その中には行政が現在すでにやらなければならない問題が非常に多く含まれている。

これらをアラビアンナイト風に考えると、宝石を、美女を、美酒をでなくて、「きょうのための水をくれ」という風な要求が強かったと思う。選外の中にも良い提案が多くあるので、行政はこれを掘り起して対応していただきたい。

きょうの問題に対処しながら、明日への対応をどうするか。選に入つたものを私なりに図式すると、実にすばらしい21世紀の富山県がほうふつとしてくる。まず、整備された道路が縦横に走り、並木道が続く。あちこちに山岳、森林公園がある。数々の記念館、博物館、劇場が林立する。空中、地上、海上には各種の博覧会、イベントが行われ、会場には県民の声が流れ、交響詩立山が上映され、冬にはノルデックスキー大会、夏には山岳スポーツ大会。そうした催しの中に観光地を結ぶモノレーンルが走る。街には生きる喜びに満ちた老人たち、将来の希望に溢れた若者たち、そして未来を担う児童、生徒らのための多く

の高等教育機関が建ち並び、ますます生涯教育がさかんになるなど、実に豊かな県土が出来上っている。

こうした図式が単なる絵にかいた餅に終るか、現実となるか夢想となるかは、これからの行政施策いかににかかっている。県がつくつたこの提案集に県の検討の方向を載せているがこれには相当の苦勞の跡が見受けられる。そして、県民の提案を処理するためには、今までの役所のタテ割りでは出来ないのではないか。その意味で県民から提案を募集したことは、大いに意義があったと思う。

また、きょうのフォーラムの形式。これが既に県民の知恵をそのまま実行している。広報公聴への提案の中で、「県民と夢を語る会」「知事と語る会」「県首脳と語る会」「広報番組をつくる」など、現実的にまここで施行されている。まさに「ひらけ富山21世紀」の幕明けというべきであろう。

1 優秀提案

「郷土時代記念館」の設置

藤瀬凡夫(富山市館出町1-6-3・作家・69歳)

置県百年記念事業として、「郷土時代記念館」を創設する。建物は、半円すい形の三階又は四階建て。最上階から下層へと螺旋廊形の陳列廊下をつくり、古代からの歴史を模型、想像画、人形、実物によってパノラマ式に展開する。下層部(四分の一程度)は、将来の展望、現在の県産品など。螺旋廊の中央空間には、小劇場をつくり見学に来た児童生徒に自作のドラマを演じさせ創作欲を育てる。

見学者は、エレベーターで最上階へ上り、順に時代をおつて見

ながら一階へ下りる。児童生徒には二度(小学五年と中学二年の時)見学させ、三年間の眼の成長ぶりやドラマの上達ぶりを自覚意識させる。

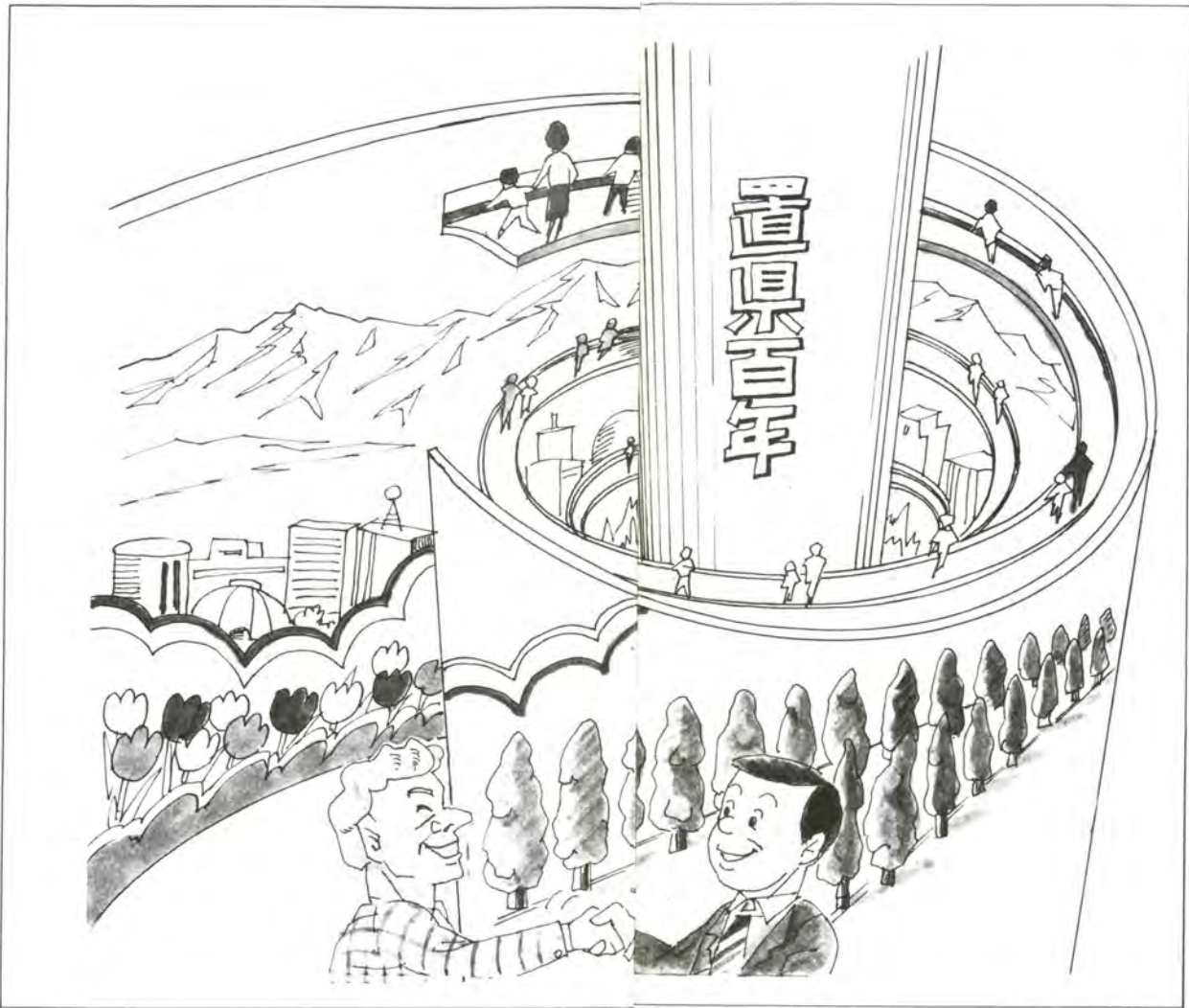
「山岳博物館」の設置

斎藤昭英(高岡市中田4-4-59・地方公務員・44歳)

置県百年記念事業として、山岳博物館(総合博物館)を設置する。

単なる収集展示ばかりでなく、調査研究に特色をおいた「山に関する」となる富山県に「山」といわれるような施設を。

夢やアイデアが835件 「県民の知恵」優秀・入選作品が決定



「交響詩立山」の上映及びこれに登場した人百名を記念式典に招待

林信雄(富山市北代5-1-64・地方公務員・44歳)

置県百年のキャンペーンとして置県九十周年を記念して製作された映画「交響詩立山」を県下各地でくまなく上映。県内で開催される会議、大会などでも上映する。

また、この映画に登場した人百名を探し出し、置県百年記念式典に招待。

郷土に関する読物、スライド、カルタの作成、講座の実施、県民歌の制定

辻寛(魚津市本町1-1-0-8・中央公民館長・71歳)

置県百年記念事業として、県民一人一人の胸にひびく、明日の生活に役立つ次の五つを提案。

- 一、本県の特産を各分野より集録した読物「ふるさと富山の発刊
- 二、百年の歩みをスライド映画化した「富山県百年の歩み」
- 三、計画的に各地区ごとに継続的に実施する「ふるさと大学講座」
- 四、明るい親しみやすい希望に満ちた県民歌の制定
- 五、すでにあるものを再検討した郷土カルタの作成

お礼のこじば

県におきましては「県民に向かって開かれた県政」を推進することを基本とし、県民と一体となって「活力ある富山県づくり」を進めているところであります。このたび、その一環として広く県民の皆様から、より良い県政のための「知恵」や「声」を募集いたしましたところ八百三十五件にのぼる創意と熱意にあふれた提案をお寄せいただきました。

応募いただいた提案につきましては、各界の学識経験者からなる県政アイデア委員会において慎重に審査いただき、優秀提案十件、入選提案百件を決定しました。

21世紀を考へる県民フォーラム



提案の内容は、いずれも「あすの富山県」の夢を語るすばらしいものであり、現在策定作業を進めている新しい総合計画や置県百年記念事業など県政の各分野に積極的に反映させていくよう、検討しているところであります。

また、市町村や関係団体において生かしていただく有益と考えられる提案もごさいますので、関係方面にも周知を図りたいと存じます。

ここに、応募いただいた中から優秀提案十件を掲載し、県勢発展の一助とさせていただきます。今後とも一層のご協力を賜りますようお願いしてお礼の言葉といたします。

富山県知事

中沖 豊

名誉県民の推挙、記念展の開催、タイムカプセルの埋蔵

梅田せつ子(富山市高園町4612・無職・50歳)

- 置県百年記念行事として、次の三つを提案。
一、昭和五十八年五月九日で満百歳以上の人を「置県百年記念名誉県民」に推挙するほか、分県運動に功労のあった人の子孫も顕彰する。
- 置県以来百年の歩みをパネル、模型、電氣的メカなどを用いて解説展示し、さらにこれからの百年を公募によって展示する「富山県過去と未来の百年展」を開催する。
- 県民から百年後の人口などの予測を募集し、タイムカプセルに詰めて埋蔵する。百年後にこれを発掘し、正解者の子孫に賞金を贈る。

小・中学校へ「富山県立体地図」を贈る

中田信泰(富山市町村172・農業・67歳)

置県百年記念事業として、県下各小・中学校へ「富山県立体地図」(地勢図)を贈る。これと同じ大きさの十枚くらいの白地図を加え、主題をきめて児童生徒に共同労作により表現させる。各校独自のカリキュラムをつくるのもよい。
また、置県の日には全校生徒に講話をする。

百年記念並木道の造成

北鹿渡庸子(氷見市姿961・教員・32歳)

置県百年記念事業として、県下各地に独自性を持たせた並木道を造成する。

「海洋技術開発センター」の建設

滑川市総務部企画室

置県百年記念事業として、海洋開発のメッカ、技術立県をめざした海洋技術開発センターを建設する。

「富山県百年記念会館」の設置

北嶋比呂子(滑川市田中町564・団体職員・22歳)

置県百年記念事業として「富山県百年記念会館」を建設する。
地上十五階、地下三階程度の高層ビル。地下は駐車場、地上は本県にない公文書館、博物館、郷土民俗資料館など。余裕があれば県民サロン、情報公開コーナーその他の県の機関を入れる。

外国の県との姉妹提携制度の制定

今井健三(小矢部市綾子11733・国家公務員・31歳)

置県百年を記念して、先進国、近隣国のなかから昭和五十八年に置県百年になる県、あるいは移住県人の多い国で県出身者の多い県と姉妹提携をする。
各団体の自主的な人的交流などにより、県民の国際化、教育文化の向上、観光客の誘致をはかる。

2 入選提案

置県百年記念事業関連										大分類小分類	
道路・交通	交通整備	県歌制定	記念誌	建築物	イベント	博覧会					提案名
新都市交通システムの導入	富山版「ロマンティックエ・ストラーセ」を作ろう。	富山県のうたの募集	置県百年の年表作成 県勢概要冊子の全戸配付 県民生活白書「私の富山」	置県二百年の森創造事業 屋根つきテニス場、屋根つき野球場の設置	県内駅伝と自転車ロードレース 富山県にS.L.を走らそう	富山県にS.L.を走らそう	立山山岳博と立山駅伝競争の実施 立山で大山岳博覧会を開催 産業博覧会の開催等 テクノポリス博の開催 大宇宙博併せて航空博 新港で日中博 新港臨海工業地帯で「水の富山博」 富岩運河を埋立て祝賀博覧会を開催 滑川市周辺に博覧会 富山医薬大とその周辺の夢	国際アマチュア演劇フェスティバル 文化フェスティバル「〇〇大文化公園 ふるさとを届ける県民の翼(ブラジル公演) 県民会館で県の歩み展を開催 歩いて立山登山	立山山岳博と立山駅伝競争の実施 立山で大山岳博覧会を開催 産業博覧会の開催等 テクノポリス博の開催 大宇宙博併せて航空博 新港で日中博 新港臨海工業地帯で「水の富山博」 富岩運河を埋立て祝賀博覧会を開催 滑川市周辺に博覧会 富山医薬大とその周辺の夢	提案名	
総合計画(活力ある産業づくり)					総合計画(魅力ある郷土づくり)					大分類小分類	
社会福祉	観光・レクリエーション	工業	農業	林業	イメージアップ	エネルギー	自然生活環境	都市計画			提案名
「老人いこいの村」の建設 ガン研究機関の設置	心身障害者への福祉施策について 老人の生きがい対策 幼老センターの設置	郷土伝統工芸館の設置 中小企業の若者を県外企業へ留学を 県内史跡めぐりで新観光地の開発 観光物産相談所の設置 観光客の流れを考えた観光政策の確立 雨に強い立山黒部アルペンルート 雪や祭りを県のイメージアップに生かせる 記念旅行企画について	和牛飼育牧場の設置 農業の振興策	富山県のシンボル色の制定を	「ローカルエネルギー対策プロジェクト」 チームの編成について	自然植物を利用した植物園の設置 向日葵を道路に	向花公園の造成 県民公園の中に彫刻の森を設置 県民公園の造成	城址公園地下駐車場の拡張 雪捨て場の確保や消火栓標示に工夫を 県土全体を自然公園化した国際観光都市づくり 魅力ある郷土づくりに対する提言 コミュニティの広場の設置 若者を定着させるために 公衆便所の美化について 富山県を桜の園にする 住みよい富山県をつくるために 全市町村に花園づくり 南砺立野原に子供の大楽園の建設 県民公園の中に彫刻の森を設置 向花公園の造成			提案名
総合計画(明日を拓く人づくり)										大分類小分類	
事務改善	文化	体育	生涯教育	高等教育機関	学校教育	青少年の育成					提案名
電話による県勢ガイド 公共施設に樹木を植えよう 富山県サービスセンターの設置 文化的公共施設のあり方	県民「文化の日」の設定 一流の公演が出来るりっぱな劇場を 県民会館に個展会場を増設 中国研究者の招へいと中国館の建設	国際林間学校の設立 ノルディックスキ大会の開催 海洋スポーツセンター研究施設の設置 山岳スポーツ、健康マラソン大会をセール スポイントに	学童の森、学童農協の設置 県立児童総合会館の設置 農業資料館等の設置 公立図書館サービスネットワークの整備 山間地の学校利用	魅力ある私立大学の創設を 公立大学構想案等三つの提案 大学の誘致及び創設方策 魅力ある私立大学の創設を 児童合宿道場、県立産業実践専門学校の設置 創造力育成を地域ぐるみで 学へ親と子の会話の中で 母と子のプレイルームづくり 歴史探訪遊歩道の設置 地理公園の設置 教育の森の造成	特殊学校と小学校の配置換えについて 夜間の教育施設の充実 高校教育に体育科の設置を 高校教育の中で郷土に関する学習機会を 公立大学構想案等三つの提案 大学の誘致及び創設方策 魅力ある私立大学の創設を 児童合宿道場、県立産業実践専門学校の設置 創造力育成を地域ぐるみで 学へ親と子の会話の中で 母と子のプレイルームづくり 歴史探訪遊歩道の設置 地理公園の設置 教育の森の造成	小・中学生のホーム・ステイ 少年の船の実施 海外技術協力事業システムの創設					提案名

踏み進むへ完全参加と平等へ



国際障害者年をふりかえって

昨年は「国際障害者年」でした。障害者がこれまで以上に地域や職場で活躍されるなど多くの成果があがっています。しかし、障害者問題は障害の程度や種類によってその求める解決しなければならぬ課題も多く残されています。障害者に開かれた住みよい社会づくりをより一層進めるため、県では皆さんの理解と協力を得ながら、これからの障害者対策に取り組んでいくことにしています。

真でふりかえってみました。



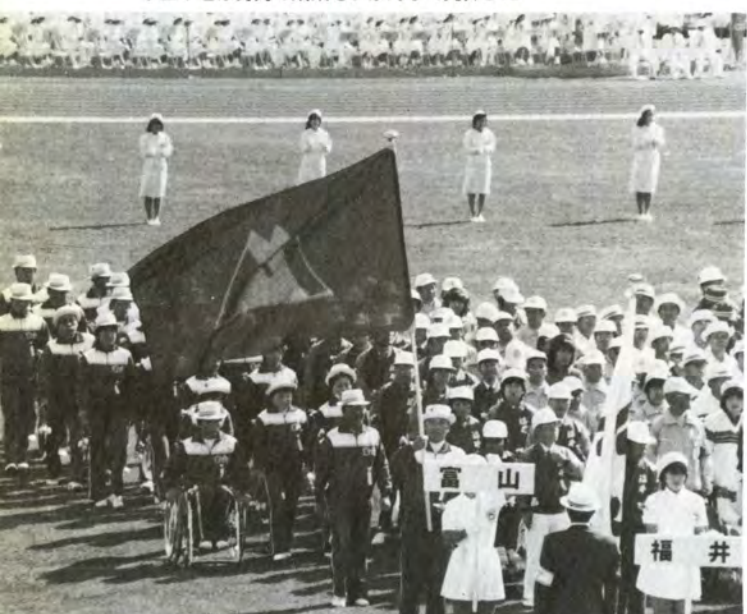
▲ 頑張れ！あと10分！！歯を食いしばっての力走 (身体障害者スポーツ大会)



▲ 富山市内で開催された心身障害者福祉展には多数の作品が展示され その見事さに感嘆の声が聞かれた
▼ 西ドイツ オランダへ派遣した青年の翼には身体障害者も加わり 健康者と助け合いながら見聞を広めた



▲ 「心身障害者に働く場を」と街頭キャンペーン
▼ 滋賀県で開催された「全国身体障害者スポーツ大会」に参加した 富山県選手団9名は努力の成果をいかに発揮した



▼ 障害者年をふりかえり 今後より一層の取り組みを誓い合った記念大会(写真は自力更生で表彰を受ける身体障害者)



▲ 国際障害者年キャラバン隊が県下をくまなくまわり 県民に理解と協力を訴えた
▼ まちまわりで県立黒部学園を訪れた中沖知事が園児たちを激励



富山県国際障害者年記念大

完全参加と平等



心身障害者の完全参加と平等をめざして

国際障害者年は5つの目標をもっています

完全参加とは

平等とは

- (1) 障害をもつ人が 公衆の設備や交通機関等に利用しやすくなるよう配慮、改良をすすめる
- (2) 障害をもつ人に 適切な職業や訓練の機会を多く提供すること
- (3) 障害をもつ人が 公共の設備や交通機関等に利用しやすくなるよう配慮、改良をすすめる
- (4) 障害をもつ人の 経済活動や社会参加を促進し、広く一般の人々に参加させる



第10回 大山町

観どころ味まん

上新川郡大山町といえば県内スキーのメッカ。立山山麓に連なる粟栗野、ゴンドラ、極楽坂の三つのスキー場へは、県内外からたくさんの方がつめかけています。
赤・青・黄・緑のカラフルなゴンドラリフトで知られる県営ゴンドラスキー場は、二つのコースと二つのゲレンデをもち、初心者から上級者まで、どなたでも楽しめるようにな



▼ 雄大な展望を誇るパノラマコース



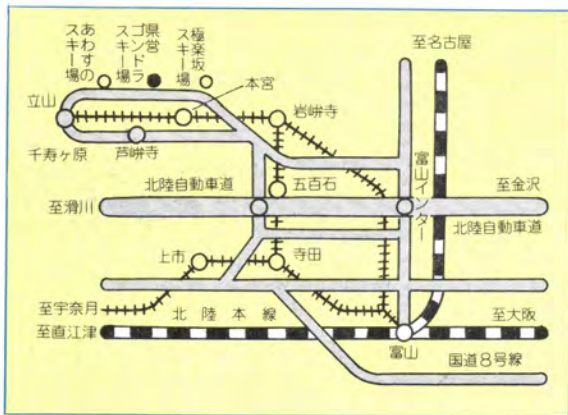
白銀の世界を駆けめぐろう

ついでに、なかでもパノラマコースは、山頂から立山連峰、富山平野を望みながら滑降でき、スキーのだいご味を満喫できる素晴らしいものです。
また、シーズンを通して「もちつき大会」

（一月十五日）を皮切りに「びっくりスラローム大会」（二月十一日）、「デュアルレーシング大会」（二月二十一日）、「ファイナルスラローム大会」（三月二十八日）などが用意されています。

ところで、このスキー場近くにケビン（宿泊棟）ができたのをごぞんじの人も多いと思います。定員四人、バス・トイレ付きのケビンは一泊七千七百円（暖房料込み）と格安です。この冬は、ここを利用して存分にスキーを楽しんでください。

（申込先／立山山麓家族旅行村管理棟 ☎0764）81-1748



●リフト利用料金

区	分	大人	小人
1回券	ゴンドラリフト	600円	300円
	チェアリフト	150円	70円
共通回数券	8こま券	1,000円	500円
	12こま券	1,500円	750円
共通1日券		2,500円	1,250円

●共通回数券
ゴンドラは4こまで1回乗車可
チェアは1こまで1回乗車可
・20名以上の団体には割引制度があります

●駐車場利用料金

区	分	普通(10人乗以下)	大型(11人乗以上)
駐車券(1回当日限り)		200円	500円

知事

これからの富山県農業を語る

「知事を囲む懇談会」から

農業者

去る十二月四日、県農業共済会館で、中核農業士、青年農業者代表、婦人農業者代表のみなさんが中沖知事を囲んで懇談会を開きました。

この懇談会では、県農業の抱える問題や今後の方向づけなどについて、熱心な討論が行われたわけですが、次に、その要旨を掲載しました。

足腰の強い、魅力ある県農業へ

知事 農産物の生産過剰、生産基礎であり、活力ある産業づくりに資する基調、「国内農産物の値上がり基調」、「国内農産物は割高だ」という国民の批判の高まりや行革に伴う農業補助金の見直しなど、農業をめぐる情勢は厳しさを増しています。しかし、農業はあらゆる産業の

基礎であり、活力ある産業づくりに資する基調であると考えます。

厳しい財政下でも、必要なのは充実強化し、活力を失わせないようにする。ただ、農業も産業である以上、生産コストを

出席者

- ・富山県知事 中沖 豊
- ・中核農業士協議会長 (33名)
- ・青年農業者代表 (12名)
- ・婦人農業者代表 (6名)

下げるなど合理化する努力が必要であり、これをぬきにしては国民や県民のみなさんの理解を得るのは難しいでしょう。

このような観点から、低コストで生産できる「足腰の強い、魅力ある県農業」をめざすことを県農政の基本目標にしています。具体的には意欲ある中核農家を育て、これを中心にした「むらぐるみ」地域ぐるみの農業を進めるとともに、地域内の土地、労働力、農業資源が有効に



「足腰の強い…農業をめざす」とあいさつする中沖知事

活用できる仕組みと付加価値の高い農業へ導くための施策を展開してまいります。

また、長期的な農業ビジョンについては、「活力ある富山県をつくる総合計画」を県民総参加のもとに策定し、希望をもって農業にいそしめる方向を明らかにしたいと考えています。

適地適産を貫く (稲など一般作物)

中核農業士代表 富山県は、「うまい米」の主産県として位置づけられているが、国に対して適

地適産主義を貫くよう働きかけて欲しい。県でも「富山米」のPR、消費拡大に、もっと積極的に取り組んで欲しいと思います。

知事 富山県は米作に適しており実績も高いので、国に対して適地適産主義を貫くよう働きかけたい。また、富山米のよさをもっと理解してもらおうようPRに努めると同時に、栄養の面でも米食が優れていることを幼い

ときから教える必要もあるので…と考えています。

中核農業士代表 富山県は米が最も適するのだから、米(飼料米も含めて)を中心とした生産

体制を強化すべきではないでしょうか。

知事 飼料米は品種選定や技術上の未解決な問題があつて収益性も低く、食用米と流通上混乱を招くなどの問題もあります。長い目で見れば飼料穀物の高騰に備えて栽培条件の確立を図る必要もあるので、農業試験場などで研究を進めています。

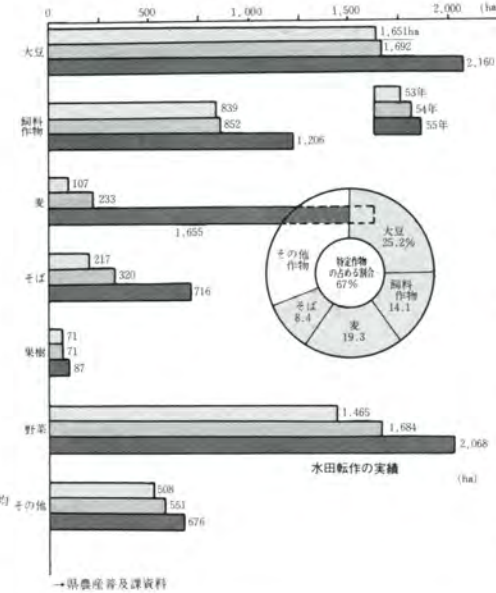
食品加工研究所に 期待(野菜・花き)

中核農業士代表 富山県内に花き市場を新設してはどうでしょうか。

知事 花き市場につきましては、当面、県内の花き生産の振興に力を入れながら、市場開設に伴う諸問題について検討していきたいと思ひます。

中核農業士代表 大豆や野菜など転作物の一次加工処理施設を設け、付加価値を高めて出荷すれば、余剰生産物処理の面からも望ましいのではないでしょ

図1 本県における主要作物の転作状況



目で見る富山県農業

〔資料〕56年農業と水産業の姿(県農業水産部編)

図2 水田率 (55年8月)

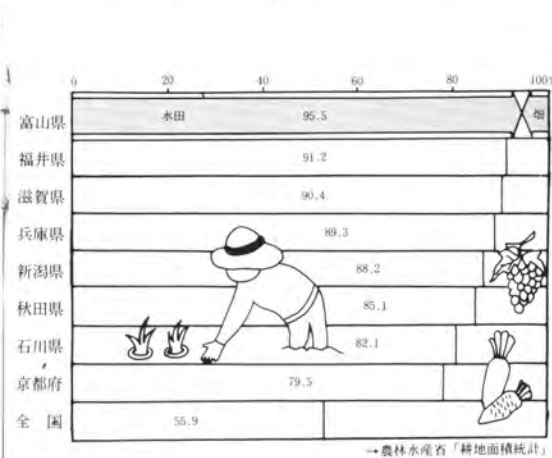


図3 野菜の作付面積及び出荷量の推移

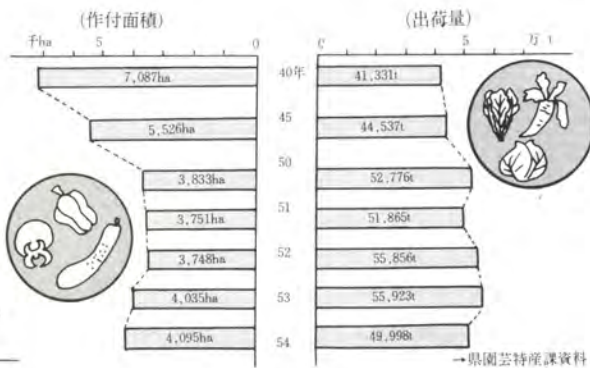
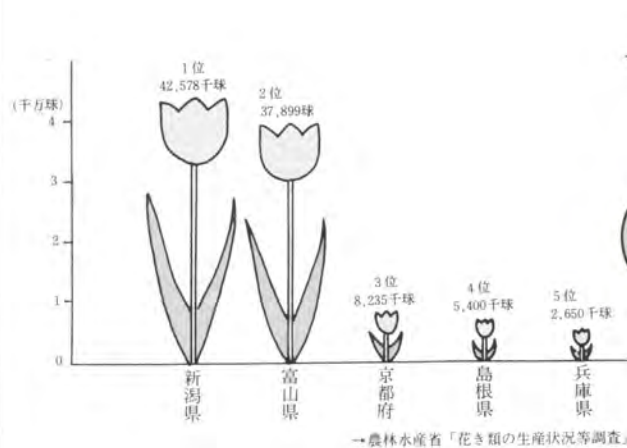


図4 チューリップの出荷量 (54年)



うか。
知事 生産者側で農産物の一次加工を行ない、付加価値を高め、出荷することは今後検討すべきことでありますし、来年に建設を予定している食品加工研究所が大いに役立つものと期待しています。

雪に強い果樹園 じゅんへ(果樹)

中核農業士代表 雪害対策の一環として、梨の「改良棚」の普及を図るべきだと思いますが、施設費用が既設のものより多くなるので、対策を講じて欲しい。また、果樹の雪害対策について聞かせていただきたい。
知事 果樹の基本的な雪害防止の技術開発については、県の機関で試験研究を進めています。雪に強い「改良棚」については、農業改良普及所や農協と相談していただき、制度資金をご活用願いたいと考えます。

青年の翼 農業部門の海外派遣は、今後も引き続き実施するつもりです。
また、中核農業士や青年農業者のみなさんとの懇談会は、年一回定期的に行っていくたいですね。
青年農業者代表 農業の重要性、必要性について県民のみなさんの理解が不足しているようです。高等学校の教育の中で、農業教育を行なったらどうでしょうか。
知事 学校教育のなかで、農業の重要性を正しく理解させていく必要があると思います。

大切なタンパク質 食品を供給(畜産)

中核農業士代表 畜産は、悪臭や蚊、ハエなど生活環境を汚すものであるという先入観が強く、必要以上に県民から敬遠されています。畜産の重要性を県民のみなさんに理解してもらえよう対策を講じていただきたいと思うのですが。
知事 畜産物は県民の大切なタンパク質食品であり、それを生産する畜産の重要性を、県民のみなさんに正しく理解していただけるよう努めたいと思います。
中核農業士代表 現在、県内に個人・公営あわせて四つのと場があるのですが、設備も老朽化しています。県でこれらを一元

化し、集中された近代的な場の新設を図ってはどうか。
知事 と畜場、へい獣処理場、子豚市場は一体的に整備することが望ましいので、今後、畜産団体などとよく相談のうえ、具体的に検討する考えです。

青年の翼は来年 からも継続

青年農業者代表 今回の青年の翼団員としてアメリカ農業を体験してきましたが、何よりも経営者の「だれにも頼らず、自ら創意工夫し努力する」姿勢に心をうたれました。まだ経験のない多くの仲間にも、このようなチャンスを与えていただければいいと思います。
知事 青年の翼は、県民の大切なタンパク質食品であり、それを生産する畜産の重要性を、県民のみなさんに正しく理解していただけるよう努めたいと思います。
中核農業士代表 現在、県内に個人・公営あわせて四つのと場があるのですが、設備も老朽化しています。県でこれらを一元



「総合雪対策研究会議」では雪に強い果樹園づくりの研究も進められている

し、婦人農業者の研修の場、話し合いの場づくりに努めてまいります。
婦人農業者代表 農業に関する組織や審議会などに婦人農業者の登用や、海外研修などへ参加する機会を与えていただきたいと思っています。

知事 農村婦人の意見が県政に反映されるよう、審議会などに積極的に参画されるようお願いしています。
中核農業士代表 農地の中核農家への集積はかなり進んでいるが、さらに進めるためには、趣味的農家の農地対策を進めるとともに、企業誘致を行って零細農家の就業の場をつくり、大規模な中核農家を育成すべきではないでしょうか。
知事 中核農家の規模を拡大することが基本ですが、零細な兼業農家についても十分その存立を認め、双方にメリットの得られるむらぐるみの営農組織づくりに積極的に進めてまいります。

には重点的かつ選択的に補助を行なっていたいただきたい。
知事 行財政改革など厳しい財政事情ですが、農業に対する補助金については、必要なものはむしろ強化するなど、活力を失わないように配慮してゆく考えです。

中核農業士代表 農地の中核農家への集積はかなり進んでいるが、さらに進めるためには、趣味的農家の農地対策を進めるとともに、企業誘致を行って零細農家の就業の場をつくり、大規模な中核農家を育成すべきではないでしょうか。
知事 中核農家の規模を拡大することが基本ですが、零細な兼業農家についても十分その存立を認め、双方にメリットの得られるむらぐるみの営農組織づくりに積極的に進めてまいります。

農村婦人大学を 拡充

婦人農業者代表 中核農家の若妻や婦人農業者が希望をもって働けるよう、グループなどで話し合いや研修のできる「場づくり」と、それに伴う活動助成をお願いいたします。
知事 農村婦人大学などを拡充

中核・零細農家 で営農組織を

中核農業士代表 行財政改革に伴って、農業に対する補助金が一律に削減されるおそれがある。と聞いていますが、補助金の見直しはなされても、必要なもの

はなされても、必要なものを積極的に進めてまいります。

図5 農家1戸当り家畜飼養頭羽数(54年2月)



図6 農産物の自給率(54年)

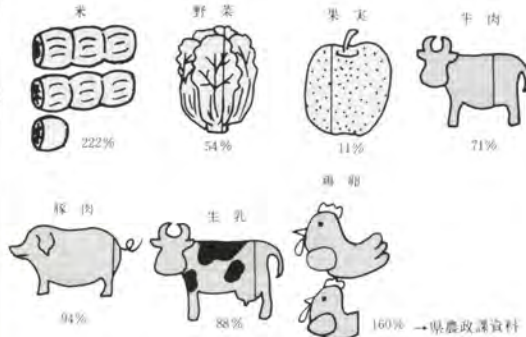


図7 54年農業粗生産額の内訳

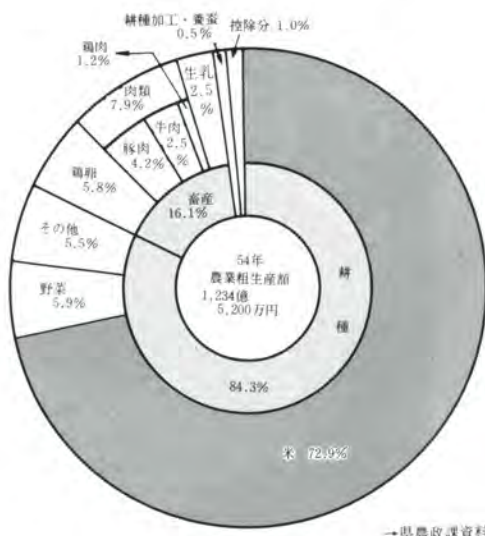
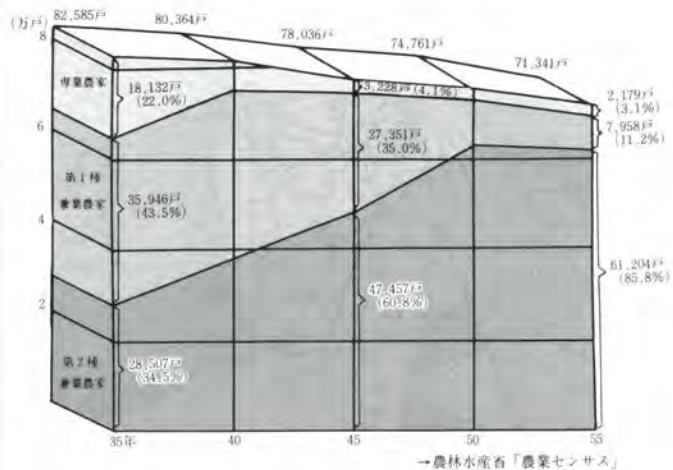


図8 農家数の推移



「路上で呼びとめたり、おどかされたり、たくみに勧められたりして、どこの誰れとも分らない業者から買い物をし
てしまい、後から商品に不満があっても、だまされたと気付いても返品できない。」という相談が目立っています。うまい話は一度疑ってみる必要があります。

相談
☎(0764)32-9233(富山)
☎(0766)25-2777(高岡)
テレフォンサービス
(0764)41-0999による、消費生活情報の提供

正絹と偽って化繊を買わされた

相談 1

「東京から展示会用の呉服を持って来たが、残ったので安く買ってくれないか」とセールスマンの訪問を受けました。正絹で一点二十万円以上するという和服や帯を開け、プラチナとか総しぼりなどという言葉を巧みに使って、良いものだから娘が大きくなっても通用すると勧めました。買い得だと思いい、訪問着や留袖、袋帯、名古屋帯、羽織、反物など十三点を十五万円で購入しました。現金の手持がなかったところ、銀行まで車で送るというので、預金をおろして支払いしました。ところが、領収書を要求したところ、仲間が待っているからと逃げるようにならして行っていました。

不審に思って近くの呉服屋で見てもらったところ、化繊だと言われました。なんとか返品できないものでしょうか。

回答

申し出の品をテストしたところ、着物はポリエステル、帯はレーヨンといずれも絹ではありませんでした。
この相談と前後して県外ナンバーの車による同様の相談が八件も寄せられ、買った人たちはみな正絹と聞いています。また、売ろうとする着物と同じ柄の着物を着た女優の写真を添付して、高級品のようなイメージを与えています。そのほか「有名な展示会場で展示した残りである」「マネキンに着せてあったので



安くしておく」「伝票の間違いで余分なものが出てきたので安く分ける」などと言い、ビニール袋に入ったままで、開けてみせないため、品質の判定がよくできないまま、一見高級そうに見えるのにつられて買わされてしまったというものです。

受けた場合には、業者の住所、氏名を明らかにした領収書を渡さなければならぬことになっています。そこで、訪問販売法違反の疑いがあることから、警察に捜査を依頼しました。しかし、申出者は車のナンバーなど業者の手掛りになるものを一切覚えておらず、捜査のしようがありません。

相談 2

会社に行く途中に呼びとめられ、車を止めたところ、男の人が足を外に出したままシートに腰掛けてきました。そして、カバンからバンドや財布、時計、ライターなどといった品を出し、いらぬというのにしつこく勧め、車から降りようとしないので先を急ぐし、仕方なくバンドやライターなど何点かを一万三千円で買ってしまいました。返品できないのでしょうか。

回答

申し出のあった翌日、同じような販売方法をしていた者が、迷惑防止条例違反の疑いで取調べを受けていましたが申出者に

販売した者とは一致しません。が不明のため代金が戻る見通しした。この件についても、相手はありません。



注意

- ◎身元のはっきりしない業者からは買わないこと。
- ◎おどかされたり、なんど断わっても帰らないような場合は、一〇番する。
- ◎うますぎる話は要注意。
- ◎おどかされたり、なんど断わっても帰らないような場合は、一〇番する。
- ◎現金購入の場合は必ず領収書を受け取る。
- ◎買わされた場合は、車のナンバーなど手掛りになるものを覚えておきましょう。



お問い合わせ

・富山県消費生活センター
(県民会館四階)
☎(0764)32-9233

・富山県消費生活センター高岡支所
(本丸会館一階、旧市役所跡)
☎(0766)25-2777

11月16日～12月15日



青年の船代表が中沖知事を表敬訪問



置県百年へ向けて本格的にスタート

11月16日

☒ 東南アジア青年の船一行が来県

日本と東南アジアの青年が友好を深める「東南アジア青年の船」の一行が来県しました。

8回目を迎えたこの青年の船ですが、今回はインドネシア、フィリピンなど5カ国が参加。このうち富山県入りした36人は11月19日まで滞在し、八尾和紙や家庭薬の製造などを視察しました。

11月16日

☒ 行革へ検討委員会を設置

県では、行財政改革検討委員会を設置することを決めました。

この委員会は栗山副知事を委員長に県の部・次長などで構成するもので、国の行財政改革に対応するための調査検討や県独自の行財政改革を検討し、57年度の予算編成に反映させることになっています。

11月17日

☒ 県民の知恵、入賞作が決定

活力ある富山県をつくる総合計画や置県百年記念事業などについてアイデアをお寄せいただいた「県民の知恵」(応募総数835件)の審査結果がまとまりました。

この審査は、池田弥三郎氏(洗足学園魚津短期大学主任教授)を委員長とする「県政アイデア委員会」にお願いしたもので、優秀10点、入選100点となっています。(くわしくは、本文2～7ページに紹介しました。)

11月18日

☒ 置県百年記念事業推進へ 県民会議が発足

置県百年(昭和58年)の記念事業を県民の総意で企画・実施しようと、この日「置県百年推進県民会議」が発足しました。この会議は、県内の各界各層にわたる85団体の代表によって構成されるもので、第1回会合では会長に中沖知事、副会長に川田県議会副議長、掘市長会長、馬瀬商工会議所連合会長、塩井婦人会長を選出しました。

また、この県民会議の事務局となる「置県百年記念事業推進本部」もこの日設置され、県民総参加のもと、富山県は置県百年に向けて本格的に動き出しました。

12月3日

☒ 「県民の知恵」入賞者を表彰 「県民フォーラム」も開催

富山市の名鉄ホテルで「県民の知恵」入賞者の表彰式を行い、中沖知事から優秀賞10人、入選89人に賞状と記念品が贈られました。

また、この表彰に引き続いて「21世紀を考える県民フォーラム」が行われました。(くわしくは、本文2～3ページに掲載しました。)

1月の街頭献血日程

月日曜	場 所	時 間	月日曜	場 所	時 間
1/ 4(月)	富山駅前	10:00～16:00	1/16(土)	電鉄桜井駅前	10:00～15:30
5(火)	富山駅前	10:00～16:00	16(土)	富山駅前	10:00～16:00
6(水)	高岡駅前	10:00～15:30	23(土)	富山駅前	10:00～16:00
9(土)	富山駅前	10:00～16:00	23(土)	高岡駅前	10:00～15:30
9(土)	高岡駅前	10:00～15:30	28(木)	福光町福祉会館前	10:00～15:30
10(日)	富山西武前	10:00～16:00	30(土)	富山駅前	10:00～16:00
15(金)	富山駅前	10:00～16:00	30(土)	高岡駅前	10:00～15:30
15(金)	高岡駅前	10:00～15:30	31(日)	高岡駅前	10:00～15:30

12月4日

☒ 農業者と知事が懇談

富山市の県農業共済会館で農業者と中沖知事との懇談会が行われました。この日出席したのは中核農業者、青年農業者のみなさんなど50人で、県農業の現状や今後の課題などについて、知事や農業水産部長と意見を交わしました。(この懇談の要旨は、本文12～15ページに掲載しました。)

12月8日

☒ 新設県立高校(福岡町)を起工

県では、富山市水橋、呉羽、福岡町に県立高校を新設し、昭和58年4月に開校することになっていますが、このトップを切って福岡町の新設高校の校舎の建設が本格的に始まりました。

12月9日

☒ 12月定例県議会を開会

この日開会された本会議では、先ず会期を12月19日までの11日間と決

めたあと、一般会計補正予算など18案件を一括上程し、中沖知事が提案理由を説明しました。

12月10日～

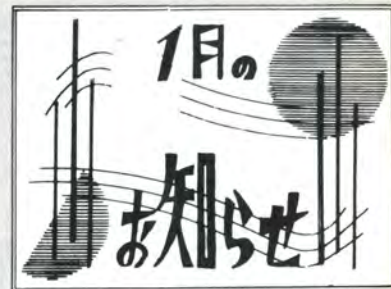
☒ 年末食品の一斉取り締まり

県では、年末食品の一斉取り締まりを開始しました。これは、不良食品や不当表示の掃蕩を目的とするもので、初日にあたるこの日は食品衛生指導員59人が出動し、10の施設を無許可営業として摘発、17件の食品を廃棄処分しました。

12月11日～

☒ 「無事故で年末、笑顔で年始」 交通安全県民運動スタート

北陸3県統一の「年末年始交通安全県民運動」(～1月10日)が始まりました。県警では、降雪時の路上駐車取り締まり、飲酒運転の防止などを中心に、安全運転を呼びかけています。



● 総合衛生学院学生募集

- ・募集人員/保健学科25人、助産学科15人
- ・第1看護学科100人、第2看護学科40人
- ・出願期間/1月11日～23日
- ・提出先/県立総合衛生学院
- 富山市西長江220番地
- ☎0764(24)6551

● 1月26日は「文化財防火デー」

貴重な文化財を火災などから守りましょう。

● 1月11日～3月11日「はたちの献血」運動

成人の記念に、あなたも献血にご協力を。

● 100パーセントの安全運転を

年の始めは、なにかと酒を飲む機会が多いものです。飲んだら乗るな。——飲酒運転は絶対にやめましょう。また、除排雪の妨げにならないように、降雪時の路上駐車は絶対にやめましょう。

● 自治医科大学学生募集

- ・募集人員/100人
- ・出願期間/1月8日～16日
- ・提出先/富山県厚生部医務課
- 富山市新総曲輪1-7
- ☎0764(31)-4111

● し尿浄化槽定期検査

近年、し尿浄化槽の設置数が大幅に増加し、河川などの汚染が全国的に問題となっております。このため、浄化槽の設置者は、年一回、公的機関による浄化槽の検査を受けなければならないことになりました。

この検査は、維持管理契約に基づく点検・清掃とは別のもので、浄化槽の維持管理が適正に行われているかどうかをチェックするものです。

本県では、この検査を「厚生大臣の指定検査機関である社団法人富山県浄化槽協会」が行うことになっています。

必ず検査を受けるようにしてください。

詳しくは、次のところにお問い合わせ下さい。

- 社団法人富山県浄化槽協会
- (TEL 0764@1208)
- 富山県生活環境部環境整備課
- (TEL 0764@4111)



▲ 優しい保母さんに囲まれて元気に遊ぶ子供たち（高志学園）
▼ 明日の独立自活を目指して勉学に励む生徒たち（高志養護学校）



校での勉強ができるようになっていきます。
優しく、ときには厳しい先生や指導員、保母さん、看護婦さんが両親に代わって世話をしてくれます。
も早く自立自活しようとお互いに助け合い、励まし合っています。

▼ 歌あり演劇ありの「クリスマスのつどい」（高志学園）



県で整備を進めている社会福祉総合施設内に、高志学園と高

志養護学校があります。高志学園は肢体不自由児施設で、上肢や下肢などに障害のある子供たちに治療や機能訓練、保育などを行っています。この学園の特徴は、高志養護学校と棟続きになっていることで、治療・訓練を受けながら学

心身障害者 福祉施設・学校紹介 9

立 高志学園
富山下飯野51-1 ☎38-5678・9
高志養護学校
富山市道正29-1 ☎38-4811

みなさんと県庁とのパイプ役

広報課では、県民のみなさんと県庁との大切なパイプ役として、この月刊誌「県広報とやま」のほかテレビ、新聞などを通じて県の事業の紹介や生活に欠かせない情報を提供しています。また、県民相談室や県政バス教室、知事と語るつどいなどを通じてみなさんのご意見や要望をお聞きしています。

KNB「こんにちは富山です」

毎週 日曜日
午前8時～8時30分



1月の テレビ

放送日	番組(予定)	内容
1. 3	知事と語る ～新春対談～	中沖知事と横山良一北日本放送社長が県政全般について語り合う。
1.10	とやま再発見 ～シリーズ～	忘れられようとしている「ふるさと富山」のよさを、みなさんと一緒に見直します。
1.17	伝統工芸の振興	私たちの心に暖かみをもたらしてくれる伝統工芸品の良さを紹介。
1.24	あすを拓く ～シリーズ～	明日の富山を切り拓こうと努力する人物、施設を紹介。
1131	ガン の早期発見	ついに死因の1位になった「ガン」の恐ろしさ、早期発見の必要性を紹介。

富山テレビ放送「110万人のひろば」

毎週 日曜日
午前9時～9時30分



放送日	番組(予定)	内容
1. 2	新春対談	中沖知事と池田弥三郎教授が、富山のよさについて語りあう。
1.10	雪の利用法	雪対策研究会議の中間報告をふまえて、行政での対応を説明しながら、昨年の豪雪の教訓と経験を生かして工夫をこらした雪対策をしている人々をレポート。(レポーター 初瀬部慎一)
1.17	冬のハイキング ～歩くスキー～	数年前から北海道で市民の人気を集めているスキージョギング、「歩くスキー」の楽しみ方を小泉レポーターが紹介します。(レポーター 小泉哲也)
1.24	とやまの観光 100選 ～冬の穴場～	さきに発表された富山の観光 100選応募のなかからあまり知られていない冬の観光資源をレポート。(レポーター 小泉哲也)
1.31	飯田先生の教育相談	小学校の校長である飯田先生が小供たちをとりまく問題についてみなさんといっしょに考える。

新聞広報

みんなの県政

毎月最終土曜日に、北日本、富山、読売、北陸中日の4紙に掲載しています。このうち、4・7・11・1月(予定)の4回は見開き2ページを使って掲載します。

県からのお知らせ

朝日、毎日、毎日毎月第2、最終土曜日に、北日本、富山、読売、北陸中日は毎月第2土曜日に掲載しています。

県政についてのご相談は……

県民相談室	富山市新総曲輪1-7(県庁内) ☎富山31-4111(代) 31-3131(県民電話・直通)
高岡地方県民相談室	高岡市赤祖父211(総合庁舎内) ☎高岡21-9411
魚津地方県民相談室	魚津市新宿10-7(総合庁舎内) ☎魚津24-5311
砺波地方県民相談室	砺波市幸町1-7(総合庁舎内) ☎砺波3-5151



はばたき(小学生作品) 2.4枚×5.4枚

4カ月余りもかけてつくった

小・中学生の力作が26点

「私たちの壁画展」

1月5日～31日 — 県立近代美術館 —



(中学生作品)